

ごあいさつ Message

皆さまには、日頃から神奈川県信用農業協同組合連合会(略称「JA神奈川県信連」)をお引立ていただき、誠にありがとうございます。

当会は、昭和23年設立以来県下JAとともに「農業の専門金融機関」として農家経営の向上に資するとともに、「地域金融機関」として組合員・利用者のニーズに応え、地域社会の発展に役立つ金融機関を目指した業務展開に努めてまいりました。

この度、当会の事業・経営に対する一層のご理解をいただくため、最近の業績や業務内容をとりまとめた「DISCLOSE 2018」(ディスクロージャー誌)を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

平成29年度のわが国経済は、世界経済の持ち直しを背景に輸出の増加や企業設備投資の拡大等により改善基調が続きましたが、実質賃金の伸びは鈍く、物価上昇も政府の目標には遠い水準で推移するなか、日銀による金融緩和政策は年度を通じて継続されました。

このような厳しい状況でありましたが、当会では「中期経営計画」の中間年度として、同計画を着実に実践し、機動的かつ効率的な資金運用やリスク管理の徹底に努めた結果、平成29年度決算は、所期の目標を達成することができました。

また、JAグループ神奈川の自己改革としては、中核的取り組みとして「営農サポートセンター」を中央会・連合会一体で運営し、農業所得向上に向けたJAの取り組み支援をさらに強化するとともに、各種農業資金への積極的な対応を行いました。

今後とも、皆さまに信頼していただける金融機関であり続けるため、業績・サービスの向上に努めるとともに、引き続きコンプライアンスの徹底、健全経営の充実等に取り組んでまいります。

引き続き、なお一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月



経営管理委員会会長
長嶋 喜満



代表理事理事長
秦 道喜